

## 異校種（小・中学校）教員による授業参観 【5回目】

12月も、たくさんの異校種（小・中学校）教員による授業参観を実施しました。

授業参観を通じた小・中学校の教員の交流が、質の高い授業に向けて改善に結びついています。

今回も、公開授業の様子を紹介いたします。

令和4年12月1日（木）第5校時

つばさ北小学校 3年1組 鷲巣 裕香 教諭

「道徳」

絵葉書と切手 ー友だちならどうするー



ひろ子（主人公）の元に転校していった正子から葉書が届いた。しかし、定形外郵便のために料金不足であった。ひろ子（主人公）は、正子に返事を書こうと思うのだが、料金不足の件を書こうか書くまいか迷う。子どもたちは、「伝える」「伝えない」のどちらが本当に友だちのためになるかを考え議論を深めていました。そして、互いに信頼し、助け合い、時には忠告や間違いを正す事ことが大切であることを理解したようです。

令和4年12月6日（火）第5校時

中山小学校 3年1組 田平 学 教諭

「算数」

三角形と角



円を描いた作図を通して二等辺三角形や正三角形の辺の特徴や角の大きさについて理解し、図形の特徴を捉える学習でした。図形の構成要素である「辺の長さ」を捉える際にコンパスを用いることを重視していました。そして、図形の弁別や三角形の作図では、「なぜそうなるのか」の根拠を児童自らが考え見いだせるよう、ペア、3人グループでの話し合いを積極的に設けて、多面的な見方・考え方が育っていました。

令和4年12月6日（火）第5校時

中山小学校 4年1組 内田 斐音 教諭

「算数」

分数



1より大きい分数を仮分数や帯分数で表したり、簡単な場合について同値分数があることを説明したりして、分数の加法及び減法の計算ができることをねらいとしていました。授業では、テープ図を用いて視覚的な情報から単位分数を自分で見つける活動を行うなど、丁寧な指導を行っていました。仮分数を帯分数に直す方法では、数直線を用いて児童の主体的な考えを導いたり、考えを説明させたりしていました。

令和4年12月7日（水）第5校時

川島中学校 1年1組 佐藤 香織 教諭

「音楽」

身体全体を使って、ボディーパーカッションを楽しもう



4分音符、8分音符、4部休符、8分休符を組み合わせ、グループで創作したリズム（2小節）にボディーパーカッションをつけるという楽しい学習でした。身体の叩く場所を変えることで音の違いを楽しみ、身体全体を使って音楽表現に主体的に取り組んでいました。また、反復、変化、対照などの構成上の特質によって雰囲気がどのように変わるのかを意識させ、試行錯誤しながら音を音楽へと構成させていました。

令和4年12月12日（月）第6校時

伊草小学校 6年2組 入澤 恵里佳 教諭

「道徳」

おばあちゃんの指定席



ゆうこ（主人公）は、途中から電車に乗ってくるおばあさんに席を譲る約束をしていたが、おばあさんが乗ってくる前に、別の駅で乗ってきた足を怪我している男性に、迷った末、席を譲る。泣きながらおばあさんに謝るゆうこに対し、おばあさんは笑顔で大きくうなずく。児童は主人公の葛藤を通して、誰に対しても思いやりの心を持つ大切さと、どういった思いから親切な行為が生まれるのかを深く考えていました。